

なんケア通信

第37回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時：令和5年8月4日(金) 18:00~19:00

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参加者：28名(介護事業所関係者 17名、医療機関関係者 6名、
地域包括支援センター 2名、その他 3名)

演題

『多職種連携におけるICT (MCS) の活用事例について』

1. 多職種連携におけるICT (MCS) 活用事例について

コリウス居宅介護支援事業所 柳田 順子 氏

2. MCSの病院での活用について

御野場病院 医事課 伊藤 正子 氏

今回は多職種連携におけるICT活用というテーマのもと、メディカルケアステーション(MCS)を活用した事例についてお話ししていただきました。

MCSは医療介護者の多職種連携のためのコミュニケーションツールとして、全国の医療現場で利用されていますが、秋田市での運用はまだまだこれからといった現状です。

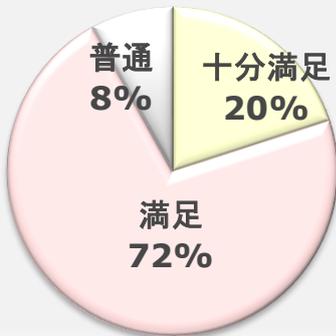
ご講演いただいた柳田順子氏は、ケアマネジャーの立場からMCSを活用して様々な病院や職種と連携しており、その事例を教えてくださいました。伊藤正子氏からは、御野場病院でどのようにMCSを利用しているかについてお話ししていただきました。

近い将来、MCS活用により患者様がより安心で、私たちがより働きやすくなることを願っています。
貴重な講演ありがとうございました。

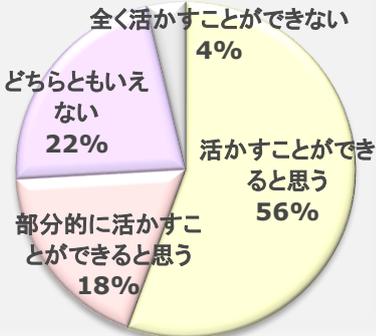
アンケート 結果

回収率：96.4%(アンケート配布：28名、回収：27名)

なんケアの会に参加して
いかがでしたか？



今後、地域での活動に
活かすことができそうですか？



会場の様子



皆様からの ご意見・ご感想

多職種が情報共有できることで、対象のご利用者の日々の状況を知ることができ、よりご本人に合った関わりが増えるのではないかと思います。

(介護支援事業所関係者)

MCSが活用できれば多職種連携や情報共有も図れて、理想的な支援ができると感じました。

(介護支援事業所関係者)

職場の理解が得られずICT化は難しいと思われま。事業所への啓蒙活動をしてほしいです。

(介護支援事業所関係者)

MCS活用により情報連携が密にできると思った。医師と直接やり取りするのに躊躇する時があるが、手軽にできると思った。

(介護支援事業所関係者)

次回開催の
お知らせ

開催日時：令和5年10月6日(金) 18:00~19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」